



Соёл Эрдэм モンゴル文化教育大学 SOYOL ERDEM



70118584

2025.09 No.73

ХЭЛТЭЙ БОЛ ДАЛАВЧТАЙ



1 НЭЭЛТИЙН МЭДЭЭ



2 МЭДЭЭ МЭДЭЭЛЭЛ



3 СЭТГЭГДЭЛ



4 ГАДААД ХАРИЛЦАА

ШИНЭ ХИЧЭЭЛИЙН ЖИЛИЙН НЭЭЛТ БОЛЛОО 入学式・始業式 が挙行されました



左から

エルデネツェツェグ校長、牧原理事長

Соёл эрдэм дээд сургууль болон Нийслэлийн ерөнхий боловсролын Соёл Эрдэм сургуулийн 2025-2026 оны хичээлийн шинэ жилийн нээлтээ ёслол төгөлдөр хийв. Энэхүү хүндэтгэлийн үйл ажиллагаанд тус сургуулийн үүсгэн байгуулагч Макихара Соичи, захирал МУГБ Л.Эрдэнэцэцэг болон багш нар, Соёл Эрдэм сургуулийн оюутан, сурагчид, эцэг эхийн төлөөлөл оролцов. Хичээлийн шинэ хичээлийн жилийн нээлтийн ёслолыг нээж профессор Макихара Соичи, МУГБ Л.Эрдэнэцэцэг нар үг хэлсэн ба тэд 2024-2025 оны хичээлийн жилийн ололт амжилтыг дурдан, энэ хичээлийн жилд олсон ололт амжилтаа бататган, илүү амжилт гаргахыг оюутан, сурагчдад уриаллаа. Өнгөрсөн хичээлийн жилд манай сургуулийг 16 сурагч төгсөн, бүрэн дунд боловсрол эзэмшин, ЭЕШ өгч, дараагийн шатны мэргэжлийн сургуулиудад элсэн орох нөхцөлөө хангасан төдийгүй, япон хэлний чадварын шалгалтыг хичээлийн жилд 2 удаа өгч, нийт сурагчдын 70% нь тодорхой түвшинг хангасан үзүүлэлттэй байна. Мөн ЭЕШ-ын өмнө өгдөг Монгол хэл бичгийн шалгалтад 12-р ангийн сурагчид 100%, 11-р ангийн сурагчид 80%-тайгаар шалгуулсан амжилтаар энэ хичээлийн жилээ угтаж байгаа тухай мэдээлэл хийлээ. Хичээлийн шинэ жилийн нээлтийн үйл ажиллагаанд сурагч Батцэцэг, Мөнгөнтөвруу, Мөнгөлөн нар ая дууны мэндчилгээ дэвшүүлэв. Ингээд Соёл эрдэм дээд сургууль болон Нийслэлийн ерөнхий боловсролын Соёл Эрдэм сургуулийн хичээлийн шинэ жилийн анхны хонх дугарлаа.

2025年9月1日に入学式・始業式が盛大に行われました。式典には、牧原創一理事長、L.エルデネツェツェグ校長をはじめ、教職員、高校生、保護者の方々が出席しました。開式にあたり、牧原創一理事長、L.エルデネツェツェグ校長から挨拶があり、2024年度の教育・活動成果が振り返られました。続いて、新年度においてはこれまでの成果をさらに確固たるものとし、より一層の努力を重ねて学びを深めてほしいとの激励の言葉が生徒たちに贈られました。

昨年度は卒業生が全員、完全に義務教育を修了し、モンゴル版大学入試共通テストを受験して全員が合格し、専門学校・大学への進学条件を満たしました。また、日本語能力試験（JLPT）は年に2回実施され、全体の70%が一定レベルに到達しました。さらに、大学入試共通テストに先立って行われたモンゴル語作文試験では、高校3年生が100%、高校1年生が80%という高い合格率を達成したことが校長より報告されました。

式典では、生徒代表のバトツェツェグ、ムングントブロー、ムングルンらが歌と挨拶で新入生・在校生を歓迎しました。最後に新学年最初のベルが鳴り響き、生徒たちは新たな学びの場へと向かいました。

モンゴルと日本の五大学による共同環境研修、JICA所長による講演と国際理解の深化

JICAモンゴル事務所の宮城所長をお招きし、日本政府によるODA（政府開発援助）の取り組みや、モンゴル国内での支援活動の現状についてご講演いただきました。

学生たちはその内容に強く関心を示し、講演後

には多くの質問が寄せられるなど、有意義な国際理解の学びの場となりました。

この貴重な機会をくださった宮城所長に、改めて心より御礼申し上げます。



JICAモンゴル事務所宮城所長の講演
8月15日



宮城所長の講演会に教員学生約50名参加
8月15日



宮城所長の講演後、皆で記念写真 左から加藤様、奥野教授、牧原理事長、宮城所長、薮様、松原教授、白井学長、片山先生、パイカル教授（8月15日）

岡病院・岡さん、久しぶりのモンゴル訪問

長年にわたり本学モンゴル民族舞踊団の訪日公演を支援してくださっている、山口県下関市菊川町・岡病院の岡さんが、このたび久しぶりにモンゴルを訪問されました。

岡さんは「何年ぶりにモンゴルの空気を吸い、学生たちの成長した姿を見ることができてとても嬉しい。これからも日本とモンゴルの文化交流を応援したい」と語りました。



岡美津子様左から2番目、その左右側寫野ご夫妻、牧原理事長（右） 8月1日

НИЙГАТА ШИНЖЛЭХ УХААНЫ ИХ СУРГУУЛИЙН /NIIGATA UNIVERSITY OF SCIENCE/ ТӨЛӨӨЛӨЛ МАНАЙ СУРГУУЛИАР ЗОЧИЛЖ АЖЛЫН УУЛЗАЛТ ХИЙВ 新潟科学技術学園代表団が本学訪問



Соёл Эрдэм дээд сургуулийн Удирдах зөвлөлийн дарга Макихара Соичи, Япон судлалын тэнхимийн эрхлэгч М.Мөнхцэцэг нар 2025.08.22-ны өдөр Нийгата шинжлэх ухааны их сургуулийн /Niigata University of Science/ төлөөлөл Косэ Томохиро, Кондо Аяако нартай уулзав. Тэд сургууль хоорондын цаашдын гадаад хамтын ажиллагааны талаар ярилцав. Энэ үеэр хичээлийн шинэ жилийн элсэлтийн талаар танилцуулга хийлээ. Уулзалтын үеэр Нийгата шинжлэх ухааны сургуулийн албан ёсны нэр өөрчлөгдсөн талаар болон шинээр нээсэн хөтөлбөрийн талаар танилцууллаа.

2025年8月22日に新潟科学技術学園代表団が本学を訪問した。入試専門主任、小瀬和洋様、事務部学生支援課長補佐、近藤綾子様が訪問し両大学の外交協力及び入試について意見交換した。訪問の際には大学の正式名称が変更になったことが報告された。モンゴル文化教育大学側は理事長牧原創一、日本語学科主任M. ムンフツェツェグが面会した。

СОЁЛ ЭРДЭМ ДЭЭД СУРГУУЛЬ ДӨРӨВ ДЭХ УДААГИЙН БАЙГУУЛЛАГЫН МАГАДЛАН ИТГЭМЖЛЭЛ БЭЛДЭЖ, 8 ШАЛГУУР ҮЗҮҮЛЭЛТЭЭ ХАНГАЖ БАЙНА

Соёл Эрдэм дээд сургууль нь үүсэн байгуулагдсанаасаа хойш Монгол улсын Боловсролын ерөнхий хууль, Дээд боловсролын тухай хуулийн дагуу үйл ажиллагаагаа тасралтгүй явуулсаар ирсэн ба энэ хугацаанд 2003 онд анхны удаа, 2010 онд 2 дахь удаагаа, 2020 онд 3 дахь удаагаа магадлан итгэмжлэгдсэн бөгөөд энэ онд бид 4 дэх удаагаа байгууллагын магадлан итгэмжлэлдээ бэлтгэн шаргуу ажиллаж, 2021-2025 он хүртлэх өөрийн үнэлгээний тайлангаа бэлтгэн, МИҮЗ-д хүлээлгэн өгөхөд бэлэн болгов.



НЕБ Соёл Эрдэм сургуулийг төгссөн Б.Золжаргал 9-р сард Япон орныг зорилоо. Тэр япон дахь гэр бүл Шибаука болон найзын хамт зургаа авхуулжээ. Б.Золжаргал нь 10 сарын 1-ний хичээл эхлэх хүртэл япон гэр бүлдээ амьдрах болно.

ゾラーは日本に来て1週間くらい、柴又に住んでいます。もうすぐ学校が始まるそうです。一緒にいるのは、2024モンゴル交流2班の皆さん、小田急のアロちゃんと仲間たちです♪



time abroad gave me the confidence to adjust and bring in fresh perspectives. Even though starting over wasn't easy, it became a chance to grow and express myself in new ways.

I WILL TRY MY BEST

12th class Hairhan (Inner Mongolia, Ordos banner)

After spending three years in the United States, coming to a new school felt both exciting and a little overwhelming. The classes, routines, and the way students interacted were so different that at first I felt like an outsider. Still, my time abroad gave me the confidence to adjust and bring in fresh perspectives. Even though starting over wasn't easy, it became a chance to grow and express myself in new ways.

My goals for enrolling at the Mongolian General Education's Soyol Erdem School are
1. I want to learn Japanese very well and study at a Japanese university in the future. I dream of studying law at a university in Japan.
2. I am trying to learn Mongolian very well. I am Mongolian, of Mongolian nationality.
I would like to express my gratitude to the head of the Soyol Erdem School Erdenetsetseg, the head of the class, Chuluun, the class teacher, Boojoo, and the classmate who welcomed me so warmly. I wish the school the best of luck and success. I believe that the Soyol Erdem school can fulfill my goals. I will try my best.

ヒッポファミリークラブによる多言語研究と草の根交流

本年も、ヒッポファミリークラブによる「大草原ゲルネイチャーキャンプ」が開催され、約70名が参加しました。
参加者は、遊牧民ゲルを訪問して遊牧文化に触れ、シリボラグ乗馬ツーリストキ

ャンプでは乗馬体験や馬頭琴演奏体験を行いました。さらに、モンゴル技術大学の教授エルデニツェツェグ先生を招いてフェルト工芸品作りのワークショップを開催するなど、さまざまな体験型学習の機会が提供されました。

また、ウランバートル市内では一般家庭での2泊ホームステイを通して、草の根レベルでの日本-モンゴル文化交流が実現しました。
加えて、5泊ホームステイを行った青少年交流グループも合流し、より多彩で充実

した国際交流の場となりました。
ヒッポファミリークラブは、多言語による国際交流活動を全国で展開しており、弊学附属高等学校の「訪日修学旅行」事業においても、日本でのホームステイ受け入れな

ど多大なご支援をいただいております。
この場をお借りして、ヒッポファミリークラブの皆様 に心より御礼申し上げます。



チンギスハーン空港でお客さんを迎える学生たち 7月23日



学生たちの自己紹介



朝のラジオ体操



安全第一・乗馬体験



安全第一・乗馬体験



森の中でバーベキューを楽しむ人々



キャンプでのファイヤー



モンゴル伝統料理・羊肉の石焼作り



日本の伝統衣装・着物を体験する様子



エルデニツェツェグ教授の指導で、羊毛を手で丸めながらフェルト工芸品を作る様子



馬頭琴演奏体験



スタッフと学生による日本の伝統文化茶道体験



ホストとゲストの対面式



ホストとゲストの対面式



無事にプログラムを終えた喜びと達成感があふれる一枚

ボランティア活動としての教師感想 船津 貴子

このたび、現在居住しているアメリカ・カリフォルニア州からモンゴル文化教育大学を訪問し、高校生・大学生を対象に「日本事情」をはじめとする授業を担当させていただく機会を頂戴しました。カリフォルニア、シリコンバレーのテクノロジー企業でビジネス英語講師を務め、また地元の学生に日本語を教える立場として、ここモンゴル文化教育大学で学ぶ生徒たちと直接交流するという、かけがえのない経験ができましたこと、卒業生マイカさん、牧原理事長をはじめ、この機会の実現に尽力してくださった皆様に心より御礼申し上げます。

モンゴルと日本の架け橋となる第一人者として、牧原創一理事長は常に教育者としての使命と情熱を発信しておられます。そのお考えに触れる中で、これまで日本国内から、あるいはアメリカから見てきた「日本」とは異なる視点を得ることになりました。特に、日本の文化や精



船津貴子先生の授業 9月23日

神性、さらには国土そのものがかつてないスピードで消滅の危機にさらされている現実と直面しました。牧原理事長をはじめ、日本の将来を憂える有識者が海外に数多く存在するという事実を、一体どれほどの日本人が認識しているのでしょうか。

それは有識者に限ったことではありません。授業で、日夜日本を目指して勉学に励む学生に「なぜ日本をそこまで愛し、日本を目指しているのか」と問いかけてみました。返ってきた答えは「勤勉さ」「正直さ」「義理堅さ」「他人を思いやる優しい心」など――日本国内では「時代遅れ」として失われつつある精神性を、彼らはまっすぐに挙げてくれるのです。ある生徒は「日本は何を食べても健康的で美味しい」と答え、将来の夢は「日本に移住して栄養士になること」と語ってくれました。健康被害が懸念される安価な食材が流入し、食文化までもが脅かされつつある日本に、彼女のような存在こそ必要ではないでしょうか。

私が改めて気づかされたのは、これから真の日本文化を継承していくのは「日本に生まれた日本人」だけではないかもしれない、ということです。海外から日本を愛し、文化継承に情熱を燃やしてくれる若者こそが、いま日本が最も必要とし

ている「新しい国民」なのかもしれません。彼らを積極的に日本へ招き入れることが、日本を消滅の危機から救う大きな手立てとなるのではないかと感じます。

ここモンゴル文化教育大学では、学問にとどまらず、日本文化や精神性に直接触れる機会を学生に積極的に提供しています。交換留学制度の推進や、日本からの講師・ゲストスピーカーの招聘など、真のグローバル市民を育成する教育が行われています。このような環境で多面的に日本を学び、日本を敬愛し、やがて日本を目指す学生たちを、日本国が積極的に受け入れていくならば、日本は彼らが憧れる「理想の日本」に近づいていくはずです。

今後も、モンゴル文化教育大学のさらなる発展と繁栄、そして日本との強い絆の構築に、心より期待を寄せます。



船津貴子先生と一年生の学生たちと 9月22日

感謝

このたびは、本学卒業生アメリカ・カリフォルニア滞在中のマイカー（オチゲレル）の推薦により、アメリカ・カリフォルニアに駐在され、世界中を飛び回る国際的な視野をお持ちの船津貴子様を紹介していただき、心より感謝申し上げます。

短期間ではありましたが、船津様がボランティアとして遥々遠い国モンゴルを訪れ、本学の学生や附属高等学校の生徒たちに日本語と英語の授業をご担当くださいましたこと、深く御礼申し上げます。滞在中はあいにく寒い日が続きましたが、ホテルから大学・高校まで忍耐強く通ってくださったお姿に、感謝の念でいっぱいです。

わずかに二日間の授業ではありましたが、学生・生徒たちにとっては新鮮かつ刺激的な学びの時間となり、授業後には「ぜひまた船津先生に教えていただきたい」という声が殺到しまし

た。教育者として、これほど嬉しいことはございません。

また、船津様のご主人は、東京大学で教鞭を執ると同時に、米国カリフォルニアで5万人の従業員を抱える半導体企業の代表取締役としてご活躍されていると伺いました。そのうえ、日米のみならず、日本とモンゴルの架け橋となることにも心を砕いておられるとのこと、感銘を受けております。今回の訪問とボランティア授業の実現は、ご主人の深いご理解とご支援があつてこそであり、重ねて感謝申し上げます。

この度のご厚意に対し、心より御礼申し上げますとともに、今後もぜひ本学と学生たちにお力添えいただければ幸いです。誠にありがとうございました。

モンゴル文化教育大学
理事長 牧原 創一



左から牧原理事長と船津貴子先生



送別懇親会にて 左からマイカー
牧原理事長、船津貴子先生 9月23日

「日本モンゴル協会」創立60周年記念行事

2025年8月28日、モンゴル日本センターにおいてが盛大に開催されました。日本からは窪田理事長をはじめ代表団の皆さまがご参加され、また在モンゴル日本国大使館より井川原大使ならびにご関係の方々にもご臨席いただきました。式典では井川原大使からご祝辞を賜り、続いて窪田理事長より、「日本モンゴル協会」がこれまで日本とモンゴルの親善交流において架け橋の役割を果たしてきたことにつ

いて、ご高説を行いました。さらに、当協会創立にご尽力された春日先生のご功績が改めて紹介され、同先生がモンゴルにおいて抑留者の墓地慰問活動をはじめ、日本とモンゴルの友好交流に大きく貢献されたことが讃えられました。春日先生は、孤児院の設立などを通して両国の友情と理解を深めるために尽力された偉大な先達であることを再認識いたしました。

60周年は日本モンゴル協会にとって大きな節目であり、モンゴル側での記念行事は両国関係を象徴するものとも言える。今回の式典を契機に、現地での文化・人的交流がさらに活発化することが期待される。

私自身も「日本モンゴル協会」の一員として、この大きな伝統を受け継ぎ、先輩方の志を胸に、日本とモンゴルのさらなる親善交流の発展に寄与してまいりたいと存じます。

筆者 牧原創一



窪田新一理事長のご挨拶



井川原大使のご挨拶



懇親交流会



左から牧原理事長、ジグジッド元在日モンゴル大使館大使、窪田理事長
井川原大使、ソホルバラム国宝芸術家、そして皆で記念写真 8月28日



モンゴルと日本の五大学による共同環境研修と自然保護活動

モンゴル文化教育大学運営「シリボラグ乗馬ツアーキャンプ」で、桜美林大学・立教大学・常磐大学・駒沢女子大学・モンゴル文化教育大学の5大学による共同環境研修が実施されました。

学生たちは乗馬体験や遊牧民の生活体験、馬頭琴演奏体験等を通じて、自然と共に生きる知恵や、人間が持つ「精神的な豊かさ」について深く学びました。物質的に豊かな社会だけで

なく、素朴な自然環境の中でも人は満足を見出し、幸せに暮らすことができる――その原点に気づくことは、学生たちにとって大きな収穫でした。

また、太陽光クッカーを使った調理実験やドローン操作体験も行われました。将来的には、ドローンを活用してモンゴル草原の砂漠化進行状況を観察・記録し、大学生による自然環境研修の一環として本格的な自然保

護プロジェクトに役立てる計画です。

さらに、トール川の畔ではゴミ拾いボランティアを行い、自然環境保護の重要性を自らの行動で示しました。こうした取り組みを通じて、「自然を守ること自分たちの暮らしを守ることにつながる」という意識が芽生えたことは、本研修の大きな成果のひとつといえます。



乗馬体験「安全第一」初心者是一对一の引馬から開始 8月



乗馬を楽しむ 8月



先生学生を問わず皆でドローン操作体験 8月



研修期間中のミーティング



ボランティア活動 学生たちによるトール川ゴミ拾い (8月)



学生たちの馬頭琴演奏体験 8月



ツェベグマーの娘イミナー夫妻と駒沢女子大学
白井学長 (右側) 8月



司馬遼太郎氏の「草原の記」主人公ツェベグマー
称号「ヤン」ミニ写真展にて



写真展見学の記念写真 8月

リピーターベテラン参加者継続の力

1991年、モンゴルが民主化され、初めて自由に海外から観光客を受け入れられるようになった年、財団法人ハーモニィセンターは（株）ジェス旅行社、（株）エンタープライズサントクと協力し、名古屋ーウランバートル間のチャーター便を運航し、初回モンゴル大草原トレッキング

グを企画しました。

創設当初から先駆者として参加されている元ハーモニィセンター理事長・大野幸男氏の引率グループも、今年もモンゴルを訪問されました。

このグループはコロナ禍の3年間を除き、毎年欠かさず来訪しているベテランのリピーターです。



騎馬トレッキングを楽しむベテラングループ 7月



遊牧民との草の根交流 ポロー家族のゲルにて 7月



左手前から佐々木様、小野崎様、一番奥中央に大野幸男様、右手前から秋元様、大野和代様ほか。



学生たちは、大野和代さんと一緒に楽しくおむすび作りを体験しました。 7月

特に秋元様は80歳代後半を迎えられた今もお元気で、コロナ禍の最中にも「今年はモンゴルに行かないのか」とお問い合わせくださるなど、その情熱と行動力に、私たちも深く励まされました。



乗馬インストラクター学生の皆様！ありがとう



旧友たち左から佐々木さん、牧原さん、秋元さん



しゃぶしゃぶ送別懇親会 7月

ベテラン参加者との再会

1991年の初回トレッキングに参加された、モンゴル大草原騎馬トレッキング旅行業の先駆者・今村敬之氏のグループが、昨年から活動を再開されました。

さらに今年は、先駆者である長友久

美子氏と中村悦子氏のグループも久しぶりに加わりました。

一行は、当時の名古屋からのチャーター便による往復や、ウランバートル市内での物資不足の厳しさなどを振り返り、モンゴル大草原騎馬トレッキング

の開拓者の一員としての歴史を懐かしく語り合いました。

こうして共に過ごした一週間はたいへん意義深く、モンゴル観光事業への貢献は大きいと言えるでしょう。



騎馬トレッキング 7月



カラコラム エルデニ・ゾーにて 7月



テントで一夜を過ごす体験 7月



前列左から長友久美子様、今村敬乃様



今村さんと長友さん、当時キャンプで実習を共にした当大学1期生ハジメ君・ネルグイ君らとの再会懇親会



モンゴル文字で名前を書いてもらう光景 7月



カラコラムへの旅の途上に 7月



皆で記念写真 7月

感謝 ТАЛАРХАЛ

TMLグループは、環境に優しいエコ活動を重視し、モンゴルでは唯一、廃棄されたペットボトルや缶を収集し、再リサイクルしてミネラルウォーターやジュース等のペットボトル・缶をモンゴル市場に提供しています。

また、教育事業支援の一環として、毎年モンゴル文化教育大学への寄付を継続してくださっています。一昨年は200,000,000トグログ（約1,000万円）、昨年は70,000,000トグログ（約350万円）を寄付され、今年は本学五階建て校舎の修繕工事費用全額（約500万円）をご負担いただきました。さらに、新校舎の教職員事務所の机・椅子、教室および図書館の机・椅子など、四階建て・五階建て校舎の全設備も寄贈くださり、その総額は80,000,000トグログ（約400万円）にのびります。

いつも本学の教育事業を温かくご支援くださっている、TMLグループ代表取締役社長テケシー様をはじめ、TMLグループの皆様、この場をお借りして心より深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

モンゴル文化教育大学
理事長 牧原創一

TML групп нь байгаль орчинд ээлтэй, эко үйл ажиллагааг эрхэмлэн, хаягдсан хуванцар сав, лаазыг цуглуулж дахин боловсруулан, эрдэст ус, жүүс, ундааны сав, лааз зэргийг Монгол улсын зах зээлд нийлүүлдэг цорын ганц компани юм.

Мөн боловсролын салбарын үйл ажиллагааг үргэлж дэмжин ажилладаг. Энэ ажлын хүрээнд жил бүр Соёл Эрдэм дээд сургуульд хандив өргөсөөр ирсэн. Өмнө нь 200,000,000 төгрөг (ойролцоогоор 10 сая иен), өнгөрсөн жил 70,000,000 төгрөг (ойролцоогоор 3.5 сая иен) хандивласан бөгөөд энэ жил манай сургуулийн таван давхар байрны засварын зардлыг (ойролцоогоор 5 сая иен) бүрэн дааж бидэнд тусламж үзүүлсэн. Үүнээс гадна манай сургуулийн шинэ байрны тохижилт болох багш, ажилчдын өрөөний ширээ, сандал, анги болон номын сангийн тавилга гээд дөрөв, тав дугаар давхрын бүх тоног төхөөрөмжийг хандивласан бөгөөд түүний нийт үнийн дүн 80,000,000 төгрөг (ойролцоогоор 4 сая иен) болсон байна.

Манай сургуулийн үйл ажиллагааг ямагт дэмждэг TML группийн ерөнхий захирал Тэгшээ болон танай хамт олонд энэ боломжийг ашиглан чин сэтгэлээсээ гүнээ талархаж байгаагаа илэрхийлж үнэхээр их баярлалаа гэж хэлмээр байна.

留学生フェスティバル

9月11日、在モンゴル日本大使館元特命全権大使・城所様をはじめ、日本の中小企業ならびに日本語学校・専門学校の代表団がウランバートルに到着されました。

9月13日（土）・14日（日）の二日間にわたり、ブルースカイホテル3階会議場にて「留学生・就職フェスティバル」が開催され、盛況のうちに終了いたしました。

当大学はこれまで、城所元大使と共に国際学術シンポジウムを共催するなど、モンゴルと日本の学術・文化交流において深い協力関係を築いてまいりました。

また、ライセンスアカデミーには在日留学生の宿泊でお世話になったことがあり、日頃より心より感謝申し上げます。



留学生フェスティバル懇親交流会